

日本共産党が「新庁舎よりも市民生活優先に」一般会計予算の修正案

まちだ新世紀、自民、公明、民主社民ネットの反対で否決に

「食の安全と食料自給率向上を求める意見書」(全会一致)「沖縄の米海兵隊員による女子中学生暴行事件に抗議し、再発防止を求める意見書」(多数)「労働者派遣法の改正を求める意見書」(多数)「新銀行東京への追加出資等に反対する意見書」(民主社民ネットと共同提出、多数)

可決!

3月市議会

日本共産党の一般質問

後期高齢者医療制度の中止撤回、周産期医療の充実、コミュニティバス路線の新設など市民の立場で論戦

日本共産党市議団は、新庁舎建設関連予算が盛り込まれた08年度一般会計予算に対する修正案を提出しましたが否決となり、市長原案が日本共産党以外の賛成で可決されました。日本共産党と民主社民ネットが共同提出した「新銀行東京への追加出資等に反対する意見書」は、17対16の賛成多数で可決。日本共産党が独自に提出した「食の安全と食料自給率向上を求める意見書」(全会一致)や「労働者派遣法の改正を求める意見書」(多数)など3件も可決され、町田市議会として国や東京都に対して意見書が送付されました。

細野ゆづり ☎七九六八一六三

重度障がい者通所施設拡大を

部長 「生活介護に移行する施設で可能」



医療的ケアの必要な重度障害者の通所施設への看護、介護の人手を保障するための支援を



中町にある町田保健所

もとめた質問に、担当部長は、「補助金で対応、中期計画で対応」と答えました。都からの保健所移管について、機能やサービス削減になるなら「移行ありき」で進めるべきではないと質問。市長は「町田市の負担があるからやめ

佐藤ゆづり ☎七九七五九四八

忠生市民センターの建替え計画と図書室の時間延長を

部長 「図書室は5時まで開きます」



佐藤洋子市議は、小山地域に公共施設増設や老朽化している忠生市民センターの建替え計画の推進を求めました。担当部長は、今後検討に入る予定であり、現在の図書室は5時まで時間延長すると答弁。地域センターにプロジェクト設置という問いには順次設置していくと答えました。市民の命を守る市民病院と



建て替えが待たれる忠生市民センター

して、周産期医療スタートにあたり、東京都に財政支援を求めるべきと質問。事務局長は、「都知事に要請している」と答えました。

佐々木ともし子 ☎七九三三二一三七

なぜ健診を有料化するのか

市長 「予防を意識づけするため」



佐々木とも子市議は、長年無料で実施されてきた健康診査を、新年度から全ての年代で500円の有料化にすることは、市民の命と健康を守る自治体の役目を放棄するもの、無料にすべきと質しました。石阪市長は、「費用負担は、意識づけのために大事だ」と答弁。学校給食の安全性を問う質問には、「小中学校と



国産野菜使用の中学校給食 (注文式)

たかしま均 ☎七三二四二二六

後期高齢者医療制度に市独自の対応を

部長 「市独自の減免制度は考えていない」



たかしま均市議は、後期高齢者医療制度で質問を行いました。独自の減免制度では浦安市が75歳以上の高齢者等に1万円の給付を実施します。「町田市独自の対応を」と求めましたが、「市独自の減免制度は考えていない」と答弁。健康診査も「多摩26市で負担金を取るのは町田とあと1市しかない」と無料化を求め



旧公団・鶴川5丁目団地

ましたが、「有料は必要」と、高齢者に冷たい答弁でした。あわせて、鶴川5丁目団地の一部建て替え問題で市の見解を求めましたが、「UR(旧公団)の判断を尊重」と副市長が答弁し、建て替え賛成の答弁に強く抗議しました。

とむむ健一 ☎七九三〇五四五八

市民の痛みや願いに心寄せた信頼される市政に転換を

市長 「市民の生活向上」



とむむ健一市議は、「市民の生活向上」といながら新庁舎建設推進から国に要求すべきとの質問に、岩崎副市長は、「実施に向け広報に務めている」と答弁。米兵事件、イージス艦事故に抗議をとの質問には、「非常に怒りを感じる」と答えました。市長は、市民の生活向上が市の役目とい



小学校の教室の机と椅子

ながら、新庁舎建設は計画通り進める考えを示しました。学校の机・椅子の早期交換をとの質問に、教育部長は「2010年に完成させたい」と答弁。市長の事件の手帳改ざんの責任を問う質問には、まともな答弁がありませんでした。

新庁舎の予算削り、ごみ袋値下げ、健診無料に

日本共産党の修正案の内容は

		(千円)
歳入予算	家庭ごみ袋代・半額値下げ	450,000
削減予算	本庁舎建設実施設計委託料	△162,081
	庁舎建設推進支援業務委託料	△31,290
	その他庁舎関連予算	△17,400
	行政経営改革関連予算	△55,805
	民間委託関連予算	△452,682
増額予算	小田急多摩線延伸などの予算	△5,590
	生活資金貸付金	500
	小中学校の机・椅子	150,000
	小中学校の就学援助費	19,000
	小中学校の冷水器	58,000
	一般成人健診委託料	3,826
	職員の人件費	402,948
国際版画美術館作品購入費	5,000	

日本共産党市議団は、08年度一般会計予算に対する修正案を提出しました。その主な内容は、新庁舎建設優先の予算を、市民の暮らし福祉、教育優先の予算に切り替えたことです。削減したのは、新庁舎建設実施設計や小田急多摩線延伸、コンベンションホール建設の検討など大型公共事業の予算です。また、民間企業の経営理論を持ち込む行政経営改革推進費の予算も削減しました。

一方、市民の願いに応え増額したのは、小中学校の机・椅子、冷水器の設置や就学援助の対象を拡大する予算です。また、有料になる健康診査は無料にし、高すぎるごみ袋代は半額に値下げします。ごみ収集の民間委託はやめ、若い職員の雇用を確保する予算に切り替えました。修正案は、まちだ新世紀、自民、公明、民主社民ネットの反対で否決され、市長提議の予算が可決されました。